

2020-21 年度 地区活動方針

ロータリーは機会の扉を開く
(Rotary Opens Opportunities)

機会の扉は、無限に存在します

どの機会の扉を開くかはクラブ
そして皆さん次第です

よりインパクトのある機会の扉を開きましょう

地区はその取組を全力で
支援いたします

2020-21 年度 地区運営方針

「新たな機会へのチャレンジで、
クラブに活力を！」

2020-21 年度 第 2770 地区
ガバナー 中里 公造

ロータリアンの皆様へ

2020-21 年度、ホルガー・クナーク国際ロータリー会長は、数字を掲げて成長を求めるようなことはしません。その理由はごく単純です。

これまで数字を掲げて成長を求めるたびに、失敗に終わってきたからです。

皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能な形でいかにしてロータリーを成長させることができるかを考えてください。そして、いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか?と述べられています。

2770 地区では、今から 11 年前の 7 月 1 日の会員数は、2,562 名でスタートしました。そして今年度 7 月 1 日の会員数は 2,522 名でした。数字だけを見ると 11 年で 40 名の減となっています。その程度の減であれば特に問題ないんじゃないですか?
というより、昨今のロータリーを取り巻く環境を考えると、頑張ってきた結果だと思いますよ、と思われる方もいるかも知れません。

しかし、この 11 年間、歴代ガバナーの皆さんのご指導、ならびに会員増強維持部門の取組、そして何よりも、地区内クラブの皆さんの頑張りによって、11 年間を平均しますと毎年 200 名以上の新会員が誕生しています。

残念ながら、物故会員を含め、入会者以上の退会者が出たため、現在の結果となっているわけです。見方を変えますと、頑張って増強してきたからこそ、現在の会員数を維持できている、ともいえると思います。

クラブにふさわしいと思われる会員だけを募っていたとしたら、毎年 200 名以上の入会者がいたでしょうか?そして、現在の会員数を維持できていたでしょうか?

私として甚だ疑問です。

次年度は、ガバナー補佐全員が会員増強維持部門の委員となっていただきます。

但し、ガバナー補佐の皆さんには、重要な役割がございますので、一委員としての活動というよりは、クラブ訪問時や会長幹事会等で、増強に関する話を必ず入れていただきたいということ、特に、退会防止、会員の維持について、会長幹事さんと連携をとっていただきたいと思っています。

ロータリークラブは、毎年地域社会のニーズに合った社会奉仕活動をするということは、「決議23-34」にもしっかりと記載されています。

継続事業ではない、新規の違った事業を毎年実施することが重要ですし、実施することにより必ずやクラブの活性化に役立つことは間違いないことです。新規の事業を実施することにより会員のモチベーションは間違いなくアップします。

そのためにもクラブの継続事業をしっかりと見直すことが重要です。継続事業を複数抱えているクラブも少なくありません。

それなりの会員数があれば複数の事業は可能ですが、クラブによっては、新規事業が容易でないこの理由付けとして、継続事業を消化することで手一杯ということをよく耳にします。

ベテランの会員の皆さんも、経験の中で、新規事業に取り組んだ時の充実感・達成感を思い出してください。そして若い会員の皆さんにも是非その時の充実感・達成感を経験させてあげてください。

クラブの継続事業を見直し、必ず新規事業を実施してください。

そして、次の「地区・クラブチャレンジ目標」の達成を目指してください。

クラブ活性化のために。

【地区・クラブチャレンジ目標】

1. 新規奉仕事業へのチャレンジ。(継続事業の見直し)
2. クラブのビジョン・戦略計画策定にチャレンジ
(例会場に掲示)
3. 女性会員比率 10%以上・若い世代の会員増強にチャレンジ。
4. 世界ポリオデー・ポリオ根絶活動への支援にチャレンジ。
5. MY ROYARYへの登録と活用にチャレンジ。
6. 全クラブが「ロータリー賞」にチャレンジ。
7. 地区チーム（ワンチーム）としての連携を強め情報を共有し
クラブ活性化の支援に全力を挙げることにチャレンジ。

2020-21 年度

RI 関連 地区重点目標

RI テーマ、ロータリーのビジョン声明、RI 会長強調事項の推進

RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーのビジョン声明

私たちは、

世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、

持続可能な良い変化を生むために、

人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

「国際ロータリー」と「ロータリー財団」の年次目標

優先事項1. 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

- ① ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
- ② 2025 年までに恒久基金を 20 億 2500 万ドルとし年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。
- ③ 地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの測定可能なインパクトを向上させる。
- ④ 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、政府機関との機会も含め、新たなパートナーシップを築く。

優先事項2. 「参加者の基盤を広げる」の目標

- ① 新クラブと革新的なクラブ、および参加者の参加経路を立ち上げることにより、また既存のクラブにおける新会員の入会を促進することにより、参加者の増加と多様化を図る。
- ② ロータリーに入会する女性会員、40 歳未満の会員、ローターアクターの数を増やす。
- ③ 世界を変える行動人としてのロータリーとロータリアンの認知を高める。

優先事項3. 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

- ① インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員、その他のロータリー参加者の積極的なかかわりを促す。
- ② すべての参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力を増やす。
- ③ 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、新たなパートナーシップを築く。

優先事項4. 「適応力を高める」の目標

- ① ロータリーのリーダーシップ構成への調整を行う。
- ② ロータリープログラムの活動の焦点を定め、また絞る可能性も視野に入れる。

2020-21 年度 地区数値目標

1. 会員数 2,700 名以上
2. 出席率 90%以上
3. ロータリー財団寄付
 - 年次基金 会 員 1 名 200 ドル以上
 - ポリオプラス基金 会 員 1 名 50 ドル以上
 - 恒久基金 クラブ 1 名 (ベネファクター 1,000 ドル)
 - 大口寄付 地区内 1 名 10,000 ドル以上を一括寄付
4. 米山記念奨学会寄付 会 員 1 名 25,000 円以上
(普通寄付 5,000 円、 特別寄付 20,000 円)
5. 青少年交換 16 名

【ガバナー補佐】

クラブと地区を結びつける大切な存在となるのが、ガバナー補佐です。ガバナー補佐とクラブリーダーが効果的に協力すれば、ロータリーがさらに強くなります。

ガバナー補佐の役割：

1. 担当クラブを定期的に訪問する。次年度は概ね2ヶ月に一度訪問する。
2. 次年度は、会員増強維持部門の一委員として、特に退会防止・会員の維持に特化した活動として、例会訪問や会長幹事会等でアドバイスをする。
3. 会員の声（懸念やニーズなど）を聞き、情報やアドバイス、参考資料を紹介して、活力あるクラブへと導く。
4. クラブの現状をガバナーに報告する。
5. ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備を支援する。
6. クラブ目標の達成状況を隨時確認する。クラブ訪問後、「ロータリークラブ・セントラル」に、クラブの評価やコメントを記録する。
7. 会員増強、奉仕活動、財団への寄付などの分野で、クラブが目標に向けて順調に活動しているかどうかを、定期的にロータリークラブ・セントラルを確認する。

ガバナー補佐の責務：

ガバナー補佐は、ガバナーおよび担当クラブに対して以下の責務を担います。

1. 地区目標の設定を援助する。
2. 地区の行事と活動に参加する。
3. 地区チーム研修セミナー、並びに、会長エレクト研修セミナー、および地区研修・協議会に出席する。
4. 将来にリーダーとなれる人材を探し育成する。
5. 担当クラブの例会、各種会合、その他行事に出席する。
6. クラブ活性化のための具体的な支援策を、ガバナーや地区委員会に提案する。
7. 地区大会やその他地区的会合への登録並びに出席を、クラブ、そして会員へ強く促す。
8. クラブの現状について、次期ガバナー補佐に情報を提供する。

【部門委員長およびロータリーの友地区代表委員へのお願ひ】

1. 部門委員長およびロータリーの友地区代表委員は、クラブの活性化支援のために何ができるかを念頭に活動してください。
2. クラブが取り組む「〇〇の機会の扉を開く」活動に積極的なアドバイスをお願いします。
3. クラブの活性化支援のため、ガバナー補佐並びに部門同士の連携（合同会議の開催を含む）を密にし、情報の共有化に努めてください。

【ロータリーの友地区代表委員】

ロータリーの友地区代表委員は、ロータリーの友に関するガバナーの代理者として、活動してください。

1. 毎月のレポート（友誌の感想文）を期限内に提出する。
2. 地区内クラブの様々な情報の把握に努め、その情報を友事務所へ送る。
3. 友誌の読書率を上げるための施策を考え、クラブに情報を提供する。
4. 友誌への投稿を呼びかける。
5. 一般社団法人 ロータリーの友事務所、恵川一成理事と連携し最新情報を各クラブに提供してください。

【管理運営部門】

クラブ活性化のため、クラブの円滑な運営の支援を主な目的とします。また、RI の運営にもしっかりと取り組んでください。

★クラブ活性化・戦略計画推進委員会：

1. クラブ活性化のための支援策を検討し提供する。
2. RI の戦略計画の理解とともに、全クラブへ戦略計画立案のアドバイスをする。
3. MY ROTARY の登録率の向上と利用、並びにクラブセントラルの活用を促進させる。
次年度の「ロータリー賞」は、クラブセントラルより各クラブが目標値を入力し、25 項目のうち過半数の 13 項目以上の目標をクリアすることにより受賞となります。
4. ロータリー賞へのチャレンジへ向けた効果的なアドバイスをする。
5. クラブ細則の見直し案を検討し情報を提供する。

★RLI 運営委員会

1. 受講者のクラブごとの偏りを少なくし、全クラブから 1 名の受講者を推薦してもらう。
2. 会長エレクト、幹事エレクトへの参加をクラブに呼びかける。
3. 将来のクラブのリーダー育成には、大変有意義な RLI への参加を呼びかける。

【公共イメージ部門】

地域社会におけるロータリーの公共イメージ向上へ向けて、部門の役割は大きなものがあります。クラブの奉仕活動等を紹介し、公共イメージと認知度の向上を目指してください。

★公共イメージ向上委員会

1. クラブのプロジェクトや、地区内のイベント等の話題をメディアが取り上げてくれるよう要請する。
2. ロータリーの最優先課題である「ポリオ根絶」に向けた活動を全てのクラブに促す。
3. 地区ホームページの更なる充実と、クラブのホームページ充実に対する支援をする。
4. ロータリーのボイス、ブランドリソースセンターへの投稿を促す。
5. ロータリーの友地区代表委員と協力体制を堅持する。
6. ロータリーの「ボイス」で、昨年小林ガバナーが寄稿した「ポリオサバイバーとして、ロータリアンとして」が閲覧数で第 3 位になりました。寄稿を呼びかけましょう。

【会員増強維持部門】

ガバナー補佐全員が会員増強維持部門の委員となります。特に退会防止・会員維持について、担当クラブを支援していただきます。

増強をしていかないとクラブは衰退の一途を辿る危険性があります。当地区ではここ 11 年平均すると毎年 200 名以上が入会しています。

しかし全体の会員数は減少しています。理由は簡単です。入会者以上に退会者（物故者を含む）が多いということです。会員の維持にも最大限の努力をすることが肝心です。

★会員増強維持委員会

1. ガバナー補佐と連携し、常に会員増強、そして会員の維持を意識する。
2. 会員数 30 名以下のクラブを中心に、卓話訪問をする。
3. 女性の比率を 10%まで引き上げる。（現在約 8%、世界は 23%以上）

4. 特に若い世代の会員の増強に力を入れる。
5. 入会候補者を会員一人に一人推薦してもらう。
6. 増強と同じレベルで維持に努める。
7. 増強委員であるガバナー補佐は、クラブ訪問時、特に会員の維持に全力を傾注する。

【奉仕プロジェクト 職業奉仕部門】

職業奉仕は、「ロータリーの金看板」そして「ロータリーの根幹」という言葉を聞いたことが無いというロータリアンが増えています。ロータリーの未来を語ることは素晴らしいですが、温故知新の精神でロータリーを学びましょう。その機会を提供してください。

★職業奉仕委員会

1. 職業奉仕月間に限らず、卓話に訪問する。
2. ガバナー補佐と協力をし、グループ内の勉強会を実施する。
3. 自らの職業を通じて社会に奉仕する機会を学ぶ。
4. 難しいといわれる職業奉仕をやさしく紹介する。

【奉仕プロジェクト 社会奉仕部門】

社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。地域社会のニーズに合った社会奉仕活動に取り組むクラブの活動に協力しましょう。

★地域社会奉仕委員会

1. クラブの新規奉仕事業について、地域社会のニーズに関する情報を提供する。
2. 継続事業の見直しに情報を提供する。
3. ロータリー財団部門と協力して、地区補助金の活用方法について情報を提供する。
4. ペットボトルキャップ回収支援事業を再考する。
5. 環境問題への情報をクラブへ提供する。(重点分野に環境問題が入る可能性大です)
6. 地区内のクラブが実施してきた奉仕事業を分析し、今後の取組への情報を提供する。

★ブライダル委員会

1. 当地区独自の委員会として、ブライダル事業の活性化を推進する。
2. 登録者情報（出せる範囲）を提供し、関心度を増やし登録者の増加に努める。
3. コーディネーターと協力して成婚カップルを増やす。
4. 公共イメージ部門と協力し、少子高齢化時代における委員会の意義と成果を広報する。
5. 地区大会で成婚カップルの紹介をする。

【奉仕プロジェクト 国際奉仕部門】

ここ数年、国際奉仕に関するプロジェクトや、姉妹クラブ・友好クラブとの交流が活発に行われ、国際奉仕事業に対する関心度、重要性が大きくクローズアップされています。その反面、国際奉仕事業に無関心のクラブも少なくありません。

効果的なクラブとなる4つの要素の2番目には「地元地域社会並びに、海外の地域社会への奉仕活動をする」となっています。同じ視線で国際奉仕事業を捉えていただきましょう。

★国際奉仕委員会

1. 全クラブが国際奉仕プロジェクトを実施できるよう情報提供や取組の支援をする。
2. 財団部門と協力し、グローバル補助金・地区補助金の有効活用への情報を提供する。
3. 各クラブの国際奉仕プロジェクト情報をまとめ、一覧として情報の提供をする。
4. 国際奉仕事業推進のため、未経験のクラブには丁寧に説明し情報の提供をする。

★国際交流委員会

1. 国際大会の登録と出席を奨励する。
2. 韓国、第3750地区との交流の推進を図る。
3. 台湾、3490地区との友好地区推進の継続をする。
4. 海外の姉妹および友好クラブの紹介と、その情報提供をする。

【青少年奉仕部門】

ローターアクト、インターラクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援する部門です。4委員会合同会議を定期的に実施してください。

★インタークト委員会

インタークトは、12～18歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを養うことができるプログラムです。

1. 活気あるインタークトクラブは、熱心な提唱ロータリークラブの存在が大きいということをアピールする。
2. インタークトクラブの提唱をクラブに呼びかける。
3. インタークターが、ロータリーのプログラムや活動に参加できるよう支援する。
4. 学校側、特に顧問教師会との連携を密にし、定期的な会合を実施する。

★ロータークト委員会

ロータークトは、18歳以上の若者の集まりです。地域社会でボランティア活動を行い、交流を深めながら、リーダーシップのスキルを養うことができるプログラムです。

世界と日本のRACの違いを感じますが、RACは世界的に注目を集めています。

1. 30歳で卒業の枠がなくなったことは、会員の維持には朗報です。増強と維持に努めるとともに、ロータークトクラブに関するRI理事会の変更点の理解を浸透させる。
2. ロータリークラブとロータークトクラブの集合体が、国際ロータリーを形成していることに関する情報を提供する。
3. ロータクターが、ロータリーのプログラムや活動に参加できるよう支援する。
4. ロータークトクラブの提唱をクラブに呼びかける。
5. ロータークトクラブ、ならびに、ロータクターとの交流の機会を増やす。
6. 世界と日本のRACの違いを学び、活動の輪を広げる。
7. スポンサークラブとの情報交換を密にし、RIへの人頭分担金支払いに備える。

★ライラ（RYLA）委員会

RYLAは、クラブや地区によって実施される、若者のためのリーダーシップ養成プログラムです。インタークトやロータークトのリーダーシップ能力を高めたり、職業人のリーダーとなる人材を育てるなど、多岐にわたります。

1. 実施内容等々をできるだけ早い時期にクラブへ情報提供する。
2. クラブ負担となる費用をできるだけ抑え、参加者を増やす。
3. 1泊2日が望ましい。

★青少年交換委員会

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、地区とロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、国際理解と親善の大切さを養うことのできるプログラムです。

1. 地区内の青少年交換活動（派遣と受入れ）の調整を担当する。
2. RIによる青少年交換参加資格認定と、危機管理を徹底し青少年を守る。
3. 複数のクラブやグループ内での受け入れを考慮する。
4. 未経験のクラブへ来日学生を卓話に派遣する。

【ロータリー財団部門】

ロータリー財団についての情報をクラブに提供し、財団プログラムへの参加と寄付に対する会員の意欲を高めます。

また DDF（地区財団活動資金）配分の承認と、クラブの補助金参加資格認定を担当します。この部門の下に設けられた下記の 6 つの小委員会が、各分野の活動を担当します。

★ポリオプラス委員会

1. ポリオの根絶を最初に提言した団体は、国際ロータリーです。
2. RI の最優先課題であることの理解を深め、寄付への更なる協力をお願いする。
3. 世界ポリオデー（10/24）に、公共イメージ部門と連携しイベント等を実施する。

★補助金・VTT 委員会

1. DDF（地区財団活動資金）配分予算の承認。
2. 補助金管理セミナーを開催し、クラブの補助金参加資格の認定をする。
3. グローバル補助金活用の奨励と、申請の地区内の地区内審査を承認する。

★財団奨学・平和フェロー・学友委員会

1. 財団奨学生に関する、応募・選考・研修・派遣等についての管理をする。
2. 国際基督教大学、近隣 6 地区のホストエリア連絡協議会の一員として、平和センターの活動を支援する。
3. 平和フェローの日本での生活支援のため、カウンセラーを派遣する。
4. 財団学友会との協力体制を堅持する。

★地区補助金運営委員会

1. 地区補助金のクラブへの配分を担当する。
2. クラブの地区補助金申請の認定をする。
3. 最終報告の管理をする。

★資金推進委員会

1. 年次寄付、恒久基金寄付、および、ポリオ・プラス基金寄付を多くの会員に募る。
2. 寄付への理解を深めるための情報を提供する。
3. 財団月間（11月）を中心に、卓話訪問をする。
4. ロータリーカード（個人カード・クラブカード）の加入と利用の促進をする。

★資金管理委員会

1. DDFに関する手続き、および書面の管理をする。
2. ロータリー財団の監査に対応する。

【米山記念奨学部門】

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間レベルでは日本最大の奨学財団です。

★米山記念奨学増進委員会

1. 米山事業の財源となる寄付、一人当たり 25,000 円以上を募る。
2. 地区に割り振られる米山奨学生の数を増やすために、寄付者率を上げる努力をする。
3. 普通寄付、特別寄付の他、当地区の弱点である法人寄付を増やす。
4. 税制上の優遇処置を含め、増進についてしっかりと説明し理解を求める。

★米山記念奨学学友・選考委員会

1. 指定校の有資格者情報を確認するとともに、指導教官とのコミュニケーションを図る。
2. 世話クラブ、カウンセラーとの連携を密にし、米山事業の特徴を最大限に活用する。
3. 米山奨学生には、できる限り多く例会への出席を勧め、クラブ事業にも参加させる。
4. 選考委員には、女性の選考委員を加える。
5. 選考基準を分かりやすくクラブに伝える。
6. 米山奨学生には、月間を中心に積極的に卓話を奨励する。

【ロータリー特別月間】

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー（RI）理事会が指定した月間のことです。

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

9月 基本的教育と識字率向上月間 & ロータリーの友月間（日本独自）

10月 地域社会の経済発展月間 & 米山月間（1回目）（日本独自）

11月 ロータリー財団月間

12月 疾病予防と治療月間

1月 職業奉仕月間

2月 平和構築と紛争予防月間

3月 水と衛生月間 & 米山月間（2回目）（地区独自）

4月 母子の健康月間

5月 青少年奉仕月間

6月 ロータリー親睦活動月間

【ロータリーの特別週間】

「ロータリー学友参加推進週間」

R I 理事会は、10月7日を含む1週間をロータリー学友参加推進週間として、ロータリーメンバーをクラブの例会や奉仕プロジェクトに招待し参加してもらうことを奨励しています。ロータリーが地元そして世界で人びとの生活を改善していることを学友たちに知ってもらうだけでなく、クラブの新会員となって、地域社会リーダーのネットワークに加わり、ひいてはロータリーに貢献してもらえることが期待されます。

「世界インターラクト週間（11月5日を含む1週間）」

R I 理事会は、ロータリークラブとインターラクトクラブに、11月5日を含む1週間を「世界インターラクト週間」として遵守するように奨励しています。それは、ロータリークラブとインターラクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

「世界理解と平和週間（2月23日～3月1日）」

1905年2月23日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」として遵守されます。

この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。理事会は、この2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しています。

「世界ローターアクト週間（3月13日を含む1週間）」

1993年、R I 理事会はRAの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。各RCには、地元のRACとの共同プロジェクトや、親睦活動に参加するよう、呼びかけを行っています。参加により、ロータリアンは、ローターアクターから、若いエネルギー、新しいアイデア、労力を得ることができますし、ローターアクターは、ロータリアンから深い知識や経験を学ぶことができます。